

新年のごあいさつ

日本商工会議所
会頭 三村 明夫



福井商工会議所
会頭 川田 達男



明けましておめでとうございます。皆さまには新しい年を健やかにお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、TPP、米国の利上げ、中国等の景気減速、IoTによる産業革命など、企業環境は変革期を迎え、本年は大きな節目の年になると思います。このような中、福井商工会議所は「中小企業・小規模企業支援の強化」「地域振興の推進」「組織の活性化」の3つを柱に、地域経済の活力を高めるために取り組みます。

地域経済の活力の源泉は中小企業・小規模企業です。当所は、小規

明けましておめでとうございます。平成28年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

わが国経済は、ようやくデフレ脱却への道筋が見え、国民・経済界が将来に向けて明るい展望を持てる期待感が広がりつつあります。

このような中で、全国514の商工会議所がそれぞれの地域で、関係者と緊密に連携しながら地域の将来をデザインし、地方創生に向けて特に「観光」や「ものづくり」に取り組んでいくことが肝要だと思います。まず、地方創生の切り札として期

模企業の経営計画作りと販路開拓を、企業に寄り添いきめ細かく支援する「経営発達支援」を中軸に置き、TPPを捉えた海外展開、経営革新への挑戦、安定した資金繰りなど、多様な経営課題や支援ニーズに応え、企業活動を支えてまいります。企業活動の活性化には、地域の社会基盤の充実が必要です。新幹線開業で金沢の活況を目の当たりにし、都市間格差の拡大に危機感を覚えます。当所は早期開業を国に求めるとともに、福井開業までの地元対策プランを年度内にまとめ、着実な実行

待される観光分野では、外国人観光客が急激に増加しました。それぞれの地域が、外国人のみならず国内の観光客を引き付けるために、新たな目標設定とともに、ボトルネックの解消と観光消費の効果を得的現実的な対策を考えていくことが重要です。

次に、日本の強みを生かす分野に製造業があります。六重苦が徐々に解消され、TPPの大筋合意により、国内立地の競争力は改善傾向にあり、新しいものづくり立国を構築する好機が訪れており、地方創生にも大いに貢献することが期待されます。

を目指します。その他、今春完成の福井駅西口再開発ビルを賑わい創出の起爆剤とし、街づくりや観光振興等、地域振興も進めてまいります。

また、商工会議所の会員相互の連帯と交流を活発化するとともに、業界や地域課題の調査研究を進め、会員企業あるいは地域の声を聞き、行政への意見・提言や会議所事業の活性化に繋げてまいります。

本年も経済社会の変化に対応し、進取の精神を発揮した会議所活動に取り組みますので、皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

さらに日本再生という点では、本年3月で震災から6年目に入る被災地の一日も早い本格復興に向けて、現地のニーズに即した支援を着実に実行していくことが重要です。

最後になりますが、地方創生の主役は、われわれ自身であり、明るい未来を切り開く気概を持ったわれわれの一步が日本再出発の推進力となります。自信を持って前を向き、変化をチャンスと捉え、果敢に挑戦してまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。